

【評価の観点】：① 目標、指標、計画等の設定の適切さ      ② 達成状況評価（自己評価）の適切さ      ③目標達成に向けた取組の適切さ      ④ 評価結果の分析の適切さ      ⑤ 次年度へ向けての改善方策の適切さ  
【評価の基準】：4・・・達成度 100%以上      3・・・達成度 80%以上～100%未満      2・・・達成度 60%以上～80%未満      1・・・達成度 60%未満

|         | 中期経営<br>目標                  | 短期経営<br>目標                   | 目標達成のための方策                                                                                                                                                                                                                                           | 評価項目                                                                                                                | 自己評価 |            |             |              |    |                                                                                                                                                                                                                  |
|---------|-----------------------------|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------|-------------|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         |                             |                              |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                     | 時期   | 目標値<br>(%) | 到達値<br>(%)  | 達成度<br>(%)   | 評定 | 説明                                                                                                                                                                                                               |
| 確かな学力   | 対話を通して、学力のさらなる向上を図る。        | 学力の定着及びさらなる向上を図る。            | ・布野中学校と連携を図り、9年後を見据えた一貫性のある授業づくりを行う。生活科・総合的な学習の時間に限らず全教科で探究的な単元づくりを行う。<br>○各教科の見方・考え方を働かせる授業を展開する。またねらいに迫るようなファシリテートを行い、児童の発言の質を向上させる。<br>○自己や他者の思考を整理したり拡散したりして、教科のねらいに迫るために思考ツールを活用する。<br>※なお○印の方策については下記「対話の充実を図る」項目の方策にもなり、対話の充実が学力の向上につながると考える。 | ①国語科・算数科の単元末テストにおける到達度をそれぞれ85%以上にする。<br>②三次市学力到達度検査の「活用」内容において、3～6年生のすべての教科（16教科）のうち全国平均を上回る教科の割合を80%以上（12教科以上）にする。 | 9月   | 85         | ①87         | 102          | 4  | ○国語科・算数科の単元末テストにおける到達度の全校平均は目標値85%を上回ることができた。基礎学力の定着を図る必要がある児童は、ランチドリルの取組を始め、学力の定着・向上をめざしていく。<br>○教科の目標に迫る授業づくりを研究したり職員で互いに授業を見合ったりして、授業力を高める取組を行っている。                                                           |
|         |                             |                              |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                     | 12月  | 85         | ①86<br>②68  | ①101<br>②80  | 3  | ○単元末テストの平均点は各学年1学期と横ばいまたは向上が見られる。<br>○学力到達度調査の結果の分析から、国語科における読解が全体の課題であった。今後は読解ドリルの活用方法の見直しや国語の授業改善を図る。<br>○基礎学力の定着を図る必要な児童に対し、ランチドリルの取組を継続している。中には学力到達度調査の点数に伸びが見られた児童もいる。ランチドリルに対して、児童らは肯定的に捉え、意欲的に学習に取り組んでいる。 |
|         |                             | 対話の充実を図る。                    | ・能動的な聴き手を育成する。「なぜ?」「でも…」「だって…」などたずねたり深めたりする技法を使えるように、日ごろの授業で指導・評価していく。<br>・全校で「トーキングタイム」を月に1度行い、ペアやグループで身近な話題について対話する場を設ける。その際、対話の技を指導したり上級生の対話の様子から学ばせたりする。                                                                                         | ・対話の良さや効果を実感している児童を80%以上にする。                                                                                        | 9月   | 80         | 100         | 125          | 4  | ○対話の良さや効果を実感している児童は100%であった。理由の記述では「対話によって自分の意見に自信が付く」「勉強が楽しくなる」など指導者が意図したことを記述した児童が多数いた。<br>○月に1度、低学年と高学年に分かれて「トーキングタイム」を行った。対話を続けるコツや話し合いを広げるコツなどを学ぶことができた。                                                    |
|         |                             |                              |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                     | 12月  | 80         | 98          | 122          | 4  | ○対話のよさや効果を実感している児童は98%であった。月に1度の「トーキングタイム」を通して、対話を広げたり深めたりできる児童が増えている。自分の考えを伝えることに対する自信も生まれてきた。<br>○各教科の学習内容でも対話を充実させていくことが今後の課題である。                                                                             |
| 豊かな心    | 目標に向かって努力する児童を育成する。         | 学校行事や学期初めの目標に向かって努力する児童を育てる。 | ・学期初めに決めた目標達成に向けて、具体的な手立てを掲げ努力を続けさせる。そして、月末に1回振り返りを行う。<br>・運動会、水泳学習、学習発表会、マラソン大会、なわとび大会における目標を決め、達成のため努力を続け、振り返りを行う。<br>・児童会と連携して、毎月の目標達成のため、学級の取り組みを決め、月末に振り返りを行う。<br>・キャリアログを活用して、意識を高めさせる。                                                        | ・学期初めの目標、学校行事の目標達成に向けて「 <u>とてもしが</u> んばっている」と振り返る児童を75%以上にする。                                                       | 9月   | 75         | 65          | 86           | 3  | ○1学期の目標達成に向けて、1か月ごとに振り返りを行った。また、学校行事（運動会、水泳）の目標もジャンプアップシートに記入し、取り組み後、振り返りを書き込んだ。学期初めの目標達成に向けたがんばりより、学校行事の目標達成に向けたがんばりが多く見られた。<br>○あまり頑張っていないと回答した児童は、1学期初めに決めた目標のための頑張りが少なかったと自らを振り返っていた。                        |
|         |                             |                              |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                     | 12月  | 75         | 71          | 94           | 3  | ○2学期の目標達成に向けて、1か月ごとに振り返りを行った。学校行事（布野小フェスタ、ふるさと祭り、マラソン大会）の目標をジャンプアップシートに記入し、取り組み後、振り返りを書き込んだ。学期初めの目標達成のためにとてもしが頑張っていると回答した児童は55%、学校行事の目標達成のためにとてもしが頑張っていると回答した児童は86%だった。                                          |
| 健やかな体   | 児童の健康・安全とともに、体力・運動能力の向上を図る。 | 健康・安全教育の充実を図る。               | ・保健指導や学級指導を通して、規則正しい生活習慣を身に付けさせる。<br>・特に「起床時刻・就寝時刻・家庭学習時間・メディア時間」の目標が守れるよう、スタディーウィーク週間を設け、年間3回行う。<br>・スタディーウィーク週間は、生活チェックカードを毎日提出し、声かけを行う。                                                                                                           | ・自分で決めた「起床時刻・就寝時刻・家庭学習時間・メディア時間」を守る児童を80%以上にする。                                                                     | 9月   | 80         | 81          | 101          | 4  | ○「起床時刻、就寝時刻、家庭学習時間、メディア時間」の目標を個々で決めて取り組んだ。低い目標を設定する児童はほぼおらず、おおむね自分に合った目標設定ができた。<br>○今回の結果から個々の課題に向けて、2学期の目標設定を行い、取り組んでいく。                                                                                        |
|         |                             |                              |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                     | 12月  | 80         | 78          | 97           | 3  | ○「起床時刻、就寝時間、家庭学習時間、メディア時間」の目標を個々で決めて取り組んだ。低い目標を設定する児童はほぼいなかったが、目標が高すぎる児童がいた。<br>○今回の課題から3学期は自分に合った目標設定を行い、取り組むようにする。                                                                                             |
|         |                             | 体力・運動能力の向上を図る。               | ・体育的行事に向けての練習を通して、体力・運動能力の向上に努める。<br>・体育委員会主催の体を使ったレクタイムを行い、楽しみながら体力・運動能力の向上に努める。<br>・新体力テストに向けて、自分の課題を理解し、課題解決に向けて努力を続けさせる。                                                                                                                         | ・体力テストでAB値を80%以上にする。                                                                                                | 9月   | 80         | 64          | 80           | 3  | ○全国平均と比べてどの学年でも記録が下回っている <u>立ち幅跳び（跳躍力）</u> と昨年度より記録が下がっている20mシャトルランの2種目について体育科の学習を中心に重点的に取り組みを行い、12月に再テストを行う。                                                                                                    |
|         |                             |                              |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                     | 12月  | 80         | 69          | 86           | 3  | ○立ち幅跳びの伸び率は88%だった。20mシャトルランの伸び率は72%だった。また、2名の児童がDからCに上がった。                                                                                                                                                       |
| 信頼される学校 | 地域・保護者信頼の学校をつくる。            | 保護者の学校の取組に対する満足度の向上を図る。      | ・地域実態や学校規模を生かした教育内容を展開し、保護者や地域のニーズに応える。<br>・年間2回のアンケートにより、児童・保護者の学校の取組に対する満足度を把握し、教育活動の工夫改善を図る。<br>・アンケート結果を分析し、面談等で詳細を把握して、改善の必要がある場合には迅速に取り組む。                                                                                                     | ①学校が楽しい・授業がわかる児童を95%以上にする。<br>②布野小学校の教育活動に満足している保護者を95%以上にする。                                                       | 9月   | ①95<br>②95 | ①91<br>②100 | ①96<br>②105  | 3  | ○保護者アンケート「授業はわかる、楽しいと言っている」・・・肯定的回答91%<br>○保護者アンケート「一人一人を大切にされた指導をしている」・・・肯定的回答100%<br>上記の肯定的回答をいただいた。<br>○HPの充実、授業改善、環境整備等に重点的に取り組み、さらに学校教育の充実と信頼向上をめざす。                                                        |
|         |                             |                              |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                     | 12月  | ①95<br>②95 | ①99<br>②98  | ①104<br>②103 | 4  | ○保護者アンケート「授業や体験活動により社会に役立つ教育をしている」・・・肯定的回答99%<br>○保護者アンケート「地域・保護者の協働して学校教育に取り組む」・・・肯定的回答98%<br>上記の肯定的回答をいただいた。<br>○HPの充実（「布野っ子トピックス」ほぼ毎日更新、授業改善、環境整備（掲示物改善等）に重点的に取り組み、保護者からも「見るのが楽しみです」という声をいただいている。             |